

地域と大学 第25号

Newsletter No.25, Division of Regional Collaboration and Lifelong Learning

生涯学習教育研究センター改組のお知らせ

2012年4月より、静岡大学生涯学習教育研究センターは、イノベーション共同研究センター、知的財産本部、地域連携協働センターと統合し、新たに設立された「イノベーション社会連携推進機構」の傘下に入りました。「イノベーション社会連携推進機構」は、1室・3部門から構成され（下図参照）、旧生涯学習教育研究センターは、そのうち「地域連携生涯学習部門」として位置づけられました。

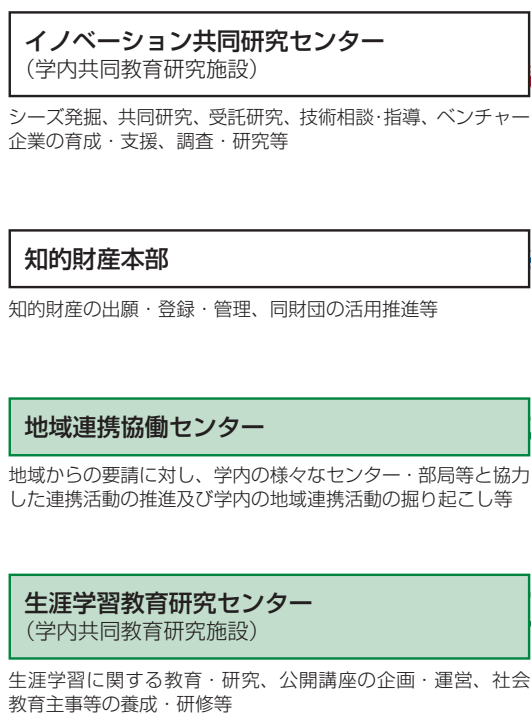
このような改組は、近年、静岡大学に限らず、他大学においても多く見られるようになり、国立大学の生涯学習系センターは目下のところ大学改革の渦中にあります。なかには再編や効率化という名の「リストラ」により、正常な機能を果たせなくなった生涯学習系センターも出始めています。

今回の改組においては、産学連携と地域連携・生涯学習という、これまでまったく別物だった組織が一つに統合されることになりました。このことによってどのようなメリットが生まれるのか、現時点ではいまだ模索段階にあります。

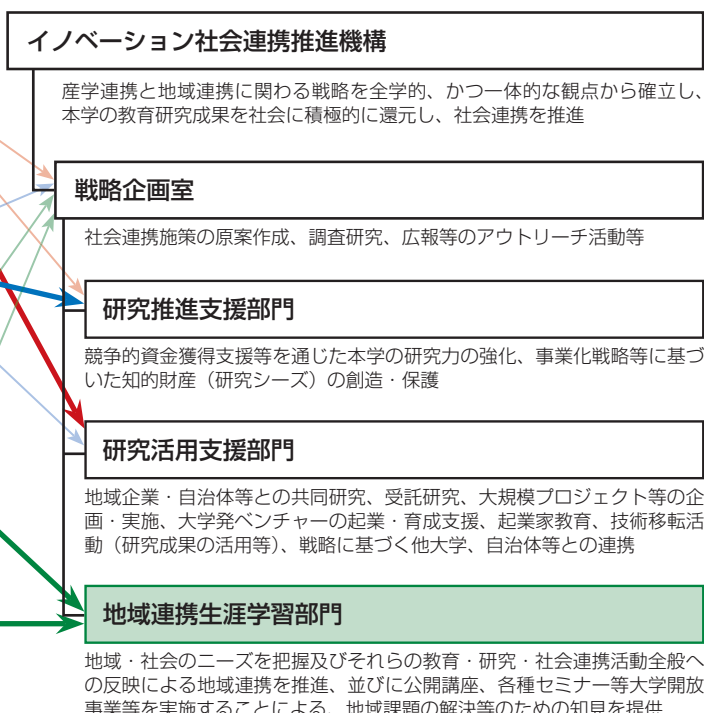
厳しい状況の中での船出となりましたが、統合によって、これまでの機能や役割が相対的に縮小していかないよう、また、「リストラ」という烙印を押されぬよう、これまで以上に努力を続けていきたいと思えます。

なお、これまで地域連携協働センターのニュースレターとして4号まで発行していた『地域とともに』（ウェブ公開のみ）は、本誌『地域と大学』に合流することになりました。

（旧組織 ～2012年3月）



（新組織 2012年4月～）



2012年度静岡大学公開講座が開催中です

今年度の公開講座は、下の表のとおり、5月から翌年2月にかけて多彩な15講座をお送りしています。それぞれの専門分野を生かした、特色ある講座が開講されています。東西に長い静岡県の地形を考慮し、静岡、

浜松、沼津など、静岡県内の県内各所で開講し、静岡キャンパス、浜松キャンパスをはじめ、アイセル21（静岡市葵生涯学習センター）や沼津市民文化センターなどが会場となっています。

講座名	講師	日時	会場	対象	定員	受講料	主催
在宅医療・介護のこれからを考える～充実したネットワーク作りを目指して～[全6回]	医療法人社団静岡健康生会訪問看護ステーションふれあい所長・大村甲苗 社会福祉法人美芳会理事・大塚芳子 法科大学院教授・宮下修一 浜松大学保健医療学部准教授・青田安史 人文社会科学部研究科教授・南山浩二 人文社会科学部研究科教授・松田純	5/22・29、6/5・12・26、7/3 (火)18:30～20:30	アイセル21(葵生涯学習センター)	医療関係者、一般市民	40	1,800	(人)
安心登山のための読図とナビゲーションスキル(初級編)	教育学部教授・村越真 オリエンテーリング日本代表選手・小泉成行	5/27(日)9:30～16:00	静岡キャンパス	登山・アウトドア活動を行う一般市民	25	3,000	(教)
ダンス必修化に対応した表現運動・ダンス指導者講習会	筑波大学教授・村田芳子 教育学部助教・山崎朱音 附属島田中学校教諭・下村和敏	①7/27、②8/3(金) 10:00～16:00	①静岡県男女共同参画センターあざれあ ②静岡キャンパス	静岡県内の小・中・高等学校教員	50	①1,000 ②500	(実)
理科教材開発ワークショップ(理科教師向け)	理学部教授・三重野哲	8/1(水) 10:00～16:00	静岡キャンパス	中学、高校の理科の先生	10	無料	(理)
体験!大学の化学実験[全2回]	機器分析センター准教授・近藤満	8/4(土)、8/5(日) 10:00～16:00	静岡キャンパス	中学生以上	20	無料	(生)
小学校外国語活動スキルアップ講座V	教育学部教授・矢野淳	8/17(金)10:00～16:00	静岡キャンパス	静岡県内の小・中・特別支援学校教員	25	500	(実)
体験!大学の化学実験～光る物質の合成～	機器分析センター准教授・近藤満	8/19(日)10:00～16:00	静岡キャンパス	中学生以上	20	無料	(生)
安心登山のための読図とナビゲーションスキル(中級編)	教育学部教授・村越真 プロアドベンチャーレーサー・宮内佐季子	9/15(土)9:30～16:00	屋外	登山・アウトドア活動を行う一般市民	15	4,000	(教)
静大キャンパス探訪～静岡キャンパスの自然～[全4回]	理学部教授・和田秀樹 理学部准教授・徳岡徹 農学部学術研究員・加藤英明 教育学部教授・小南陽亮	10/6・13・20・27(土) 10:00～12:00	静岡キャンパス	一般市民、学生、小中高生(中学生以下は保護者同伴)	20	無料	(キ)
食と健康を科学する[全3回]	教育学部准教授・竹下温子 理学部准教授・木暮暁子 農学部助教・日野真吾	10/13・20・27(土) 14:00～16:00	沼津市民文化センター	一般市民	50	無料	(生)
お米を食べよう!～イネの収穫・調製教室～	農学部助教・浅井辰夫 農学部技術専門職員・西川浩二	10/20(土)9:00～12:00	農学部附属地域フィールド 科学教育研究センター藤枝フィールド	小学生以上	20	1,000	(農)
バイオテクノロジー体験～茎頂培養をしてみよう～	農学部准教授・河原林和一郎	11/3(土)10:00～12:30	農学部附属地域フィールド 科学教育研究センター藤枝フィールド	中学生以上	10	800	(農)
ブローライフル&ノルディックウォーキングで里山バイアスロンと里山自然体験[全3回]	教育学部教授・杉山康司 教育学部准教授・祝原豊 名誉教授・中野偉夫 沼上資源循環センター啓発施設・重岡廣男	11/5・12・19日(月) 9:30～12:00	静岡キャンパスおよび周辺、体育館または合宿所	メディカルチェックで運動制限されていない健康な方	27	5,000	(教)
情報学アラカルト講座2012	情報学部教授・中尾健二 情報学部教授・山田文康 情報学部教授・小西達裕	11/10(土) 10:30～12:00	浜松キャンパス	興味のある方なら誰でも	各50	無料	(情)
家庭果樹を楽しもう!!～果樹のせん定教室～	農学部助教・八幡昌紀 前農学部教授・高木敏彦 農学部技術専門職員・増田幸直 農学部技術専門職員・成瀬博規	2013年2/27(水) 9:00～12:00	農学部附属地域フィールド 科学教育研究センター藤枝フィールド	高校生以上	15	1,500	(農)

[主催欄凡例]

(生) = イノベーション社会連携推進機構(地域連携生涯学習部門) (人) = 人文社会科学部 (教) = 教育学部 (農) = 農学部
(情) = 情報学部 (理) = 理学部 (実) = 教育学部附属教育実践総合センター (キ) = キャンパスミュージアム

静岡大学創立60周年記念事業を継承した連携講座

静岡大学・読売新聞連続市民講座「〈いのち〉に挑む最前線」

回	日時	タイトル	講師	参加者
1	5/26 (土)	寿命のない生き物が地球を変える、支える	加藤 憲二 (静岡大学理学部地球科学科教授)	170
2	6/23 (土)	正義論と生命倫理	石井 潔 (静岡大学理事・副学長)	142
3	7/21 (土)	共生するいのち ～微生物にみる生命の生き残り戦略～	鯨島 玲子 (静岡大学農学部共生バイオサイエンス学科准教授)	145
4	8/25 (土)	終末期医療におけるいのちとこころ	笠井 仁 (静岡大学人文社会科学部社会学科教授)	—
5	9/29 (土)	〈弱さ〉という絆とコミュニティ ～病いの経験を物語ることの意味～	南山 浩二 (静岡大学人文社会科学部社会学科教授)	—

■会場：静岡市産学交流センター (B-nest) 6階プレゼンテーションルーム

■参加費：無料

■主催：静岡大学イノベーション社会連携推進機構 (地域連携生涯学習部門)、読売新聞東京本社静岡支局

2012年度地域連携応援プロジェクトが始動しました

学内の学生・教職員を対象に「地域連携応援プロジェクト」を募集し、18件の応募がありました。そのうち3件を学生支援センターに付託、1件を当部門の事業に位置づけることとし、残り14件の中から今回の募集経費の枠内で11件のプロジェクトを採択しました。

これらの取り組みが進むことにより、学生・教職員の主体的な地域連携活動が促進され、地域とより密着に連携した静岡大学になることを期待しています。

このプロジェクトの成果報告会は、今年度末に実施する予定です。

採択したプロジェクト一覧

部局	代表者	プロジェクト名
教育学部	赤田 信一	「母親と子どもの絆」を深めるためのダンスの創作活動に対する推進サポート事業
人文社会科学部	今野 喜和人 (実施責任者:平野雅彦)	幼児指導絵本『あそび』と静岡の絵本文化
情報学部	田中 宏和	中小企業の情報化推進と社会人基礎力を育むIT経営実践道場
教職大学院	矢崎 満夫	世界の遊びとスポーツでつながる!異文化交流プロジェクト
技術部	井上 直己	ものづくりを通しての「環境啓発」プロジェクト
教育学部	松永 泰弘	産学官・地域連携による教材・商品開発
教育学部	松永 泰弘	遊びや体験活動を通して学びに熱中する子ども育成の場「ちびっこ寺子屋」プロジェクト
教育学部	池田 恵子	自主防災活動に男女共同参画・多様性配慮の視点を導入するための研修者養成サポート事業
教育学部	塩田 真吾	静岡市版「まちのお仕事図鑑」を活かした学校向けキャリア教育プログラムの開発と普及
人文社会科学部	水谷 洋一	平成24年度ぬまづ環境塾支援事業
教育学部	杉山 康司	静岡市沼上資源循環センター啓発施設を利用した自然環境を学びながら親子運動教室

2012年度上半期（4月～7月）の事業報告

主催事業

地域連携応援プロジェクト 成果報告会（第2回）

静岡大学の地域連携活動を推奨・支援するために、2011年5月に静岡大学「地域連携応援プロジェクト」を募集・採択をしました。すでに2012年1月26日（木）にこのプロジェクトの第1回成果報告会を開催していますが、第2回としてその続編を実施しました。

- ・日時：2012年4月19日（木）17:30～19:30
- ・会場：[静岡会場] 静岡大学静岡キャンパス共通教育A棟301教室、[浜松会場] 静岡大学浜松キャンパス総合研究棟10階会議室※遠隔テレビシステムで2会場を結んで実施。

・プログラム：

- ①「静岡市における産業遺産の振興を目的としたガイドマップ作成事業」プロジェクト代表者：日詰一幸（静岡大学人文社会科学部教授）、報告者：梶山雄紀（静岡大学人文社会科学部4年）、高橋宗久（静岡大学人文社会科学部4年）
- ②「サッカーを活かしたまちづくりを推進する「エスパルスドリーム教室」」プロジェクト代表者：塩田真吾（静岡大学教育学部講師）、報告者：小川まゆ（静岡大学教職大学院修士2年）、酒井郷平（静岡大学教育学部4年）
- ③「静岡市梅ヶ島・大代集落における「ホームカミングデイ」の実施」プロジェクト代表者：富田涼都（静岡大学農学部助教）、報告者：澤原勇貴（静岡大学農学部4年）
- ④「Hamamatsu 合同大学祭」プロジェクト代表者：青木徹（静岡大学電子工学研究所准教授）、報告者：黒光尊康（静岡大学大学院工学研究科修士1年）

・参加者数：75人

（内訳）[静岡会場] 69人、[浜松会場] 6人

・参加費：無料

公開セミナー

「学んで楽しい！～大学で学ぼう～」

知的障害のある人が、学校卒業後も生涯学習の機会を持ち、より豊かな人生を送ることができることを目的に、「学んで楽しい！」と題する公開セミナーを実施しました。知的障害のある人にとっても、学び続

ける機会があることで、社会参加の幅が広がり、人生をより豊かにすることができます。ボランティアの方々も含めたくさんの方々に参加いただきました。

・日時：2012年6月24日（日）9:15～12:15

・プログラム：

[演習]「アイスブレイク～学びのなかま～」講師：大畑智里（静岡大学教育学部附属特別支援学校教諭）

[講義①]「グラフの話～点と線でできた図形を数学的に考えよう～」講師：大田春外（静岡大学教育学部数学教育講座教授）

[講義②]「ロンドンオリンピック開幕！～イギリスへの旅～」講師：勝又勇紀（株式会社JTB中部静岡支店営業二課長）

・参加費：無料

・参加者数：65人

・会場：静岡大学教育学部G棟104教室

・主催：静岡大学イノベーション社会連携推進機構（地域連携生涯学習部門）

・企画：静岡県知的障害者就労研究会

市民開放授業

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目を、一般市民の方に開放するものです。単位の認定はありませんが、入試なし、受講資格不要、簡単な手続きで受講できます。正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流を持ちながら学ぶことができます。

2012年度前期・通年の開講科目数・受講者数の状況は下表のとおりです。

開講科目数			受講者数		
静岡キャンパス	浜松キャンパス	合計	静岡キャンパス	浜松キャンパス	合計
200	46	246	145	29	174

地域と大学 第25号

発行日——2012年8月20日

発行——静岡大学イノベーション社会連携推進機構
（地域連携生涯学習部門）

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
（理学部B棟1階）

TEL: 054-238-4817 FAX: 054-238-4295

E-mail: LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

（事務局）学術情報部研究協力課 ☎ 054-238-4317